



2022年3月期(第46期)  
決算説明資料

証券コード:5217



テイクオーイル株式会社

1. 2022年3月期決算
2. 2023年3月期業績予想
3. 半導体市場予測
4. 中国第三工場新設
5. 新型コロナウイルス感染症関連



▲蔵王工場

# 1. 2022年3月期決算

- (1) 実績ハイライト（連結）
- (2) 経営成績（連結）
- (3) 経営成績（単体）
- (4) 売上推移（連結）
- (5) 設備投資額・減価償却費（連結）
- (6) 製品別売上高
- (7) 海外売上比率の推移
- (8) 配当金の推移

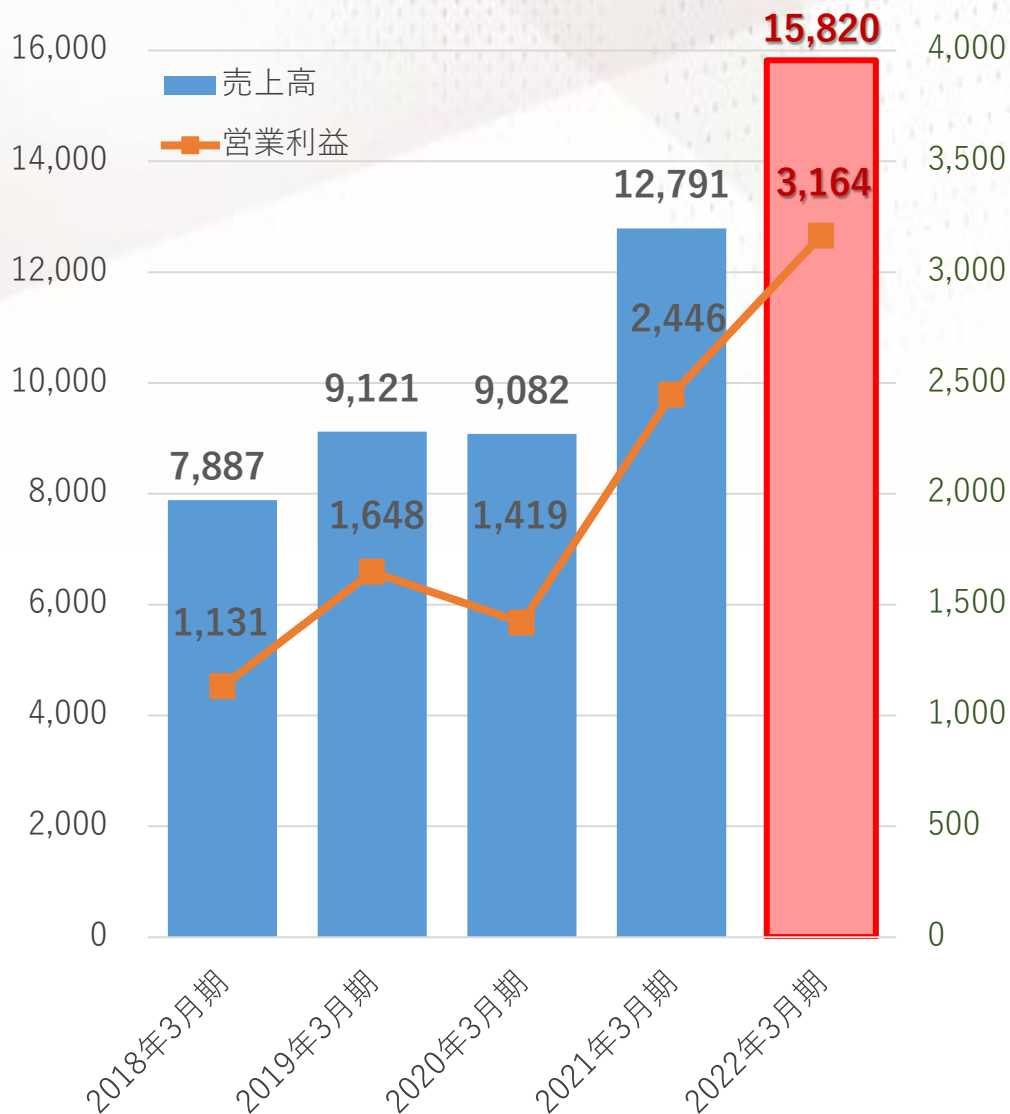


▲蔵王南工場

# 1. 2022年3月期決算

## 1-(1)実績ハイライト (連結)

(単位：百万円)



営業利益率  
20.0%

ROE  
17.6%

自己資本比率  
75.3%

売上高計画達成率  
120.8%

営業利益計画達成率  
128.6%

## 1－(2) 経営成績（連結）

(単位：百万円)

	2020年3月期 (第44期)		2021年3月期 (第45期)		2022年3月期 (第46期)	
売上高	9,082	△0.4%	12,791	40.8%	15,820	23.7%
営業利益	1,419	△13.9%	2,446	72.4%	3,164	29.4%
経常利益	1,480	△13.1%	2,368	60.0%	3,231	36.4%
純利益	992	△14.5%	1,606	61.8%	2,200	37.0%

注) %表示 対前年同期比増減率

## 1－(3) 経営成績（単体）

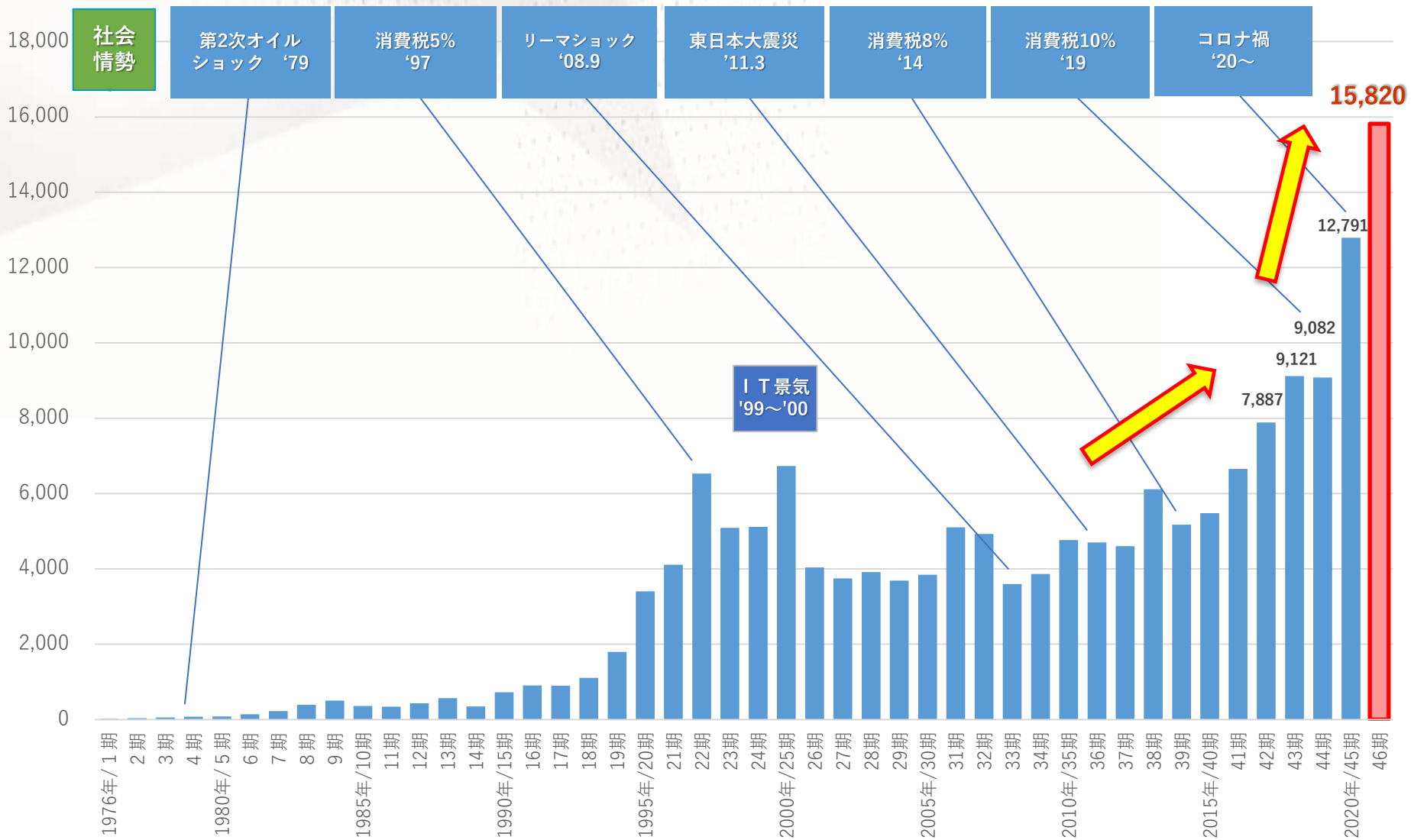
(単位：百万円)

	2020年3月期 (第44期)		2021年3月期 (第45期)		2022年3月期 (第46期)	
売上高	8,291	△1.5%	11,441	38.0%	13,887	21.4%
営業利益	1,039	△12.9%	1,613	55.3%	2,243	39.1%
経常利益	1,568	26.0%	1,714	9.3%	2,497	45.6%
純利益	1,196	40.6%	1,173	△1.9%	1,732	47.7%

注) %表示 対前年同期比増減率

# 1-(4) 売上推移 (連結)

(単位：百万円)



## 1-(5)設備投資額・減価償却費(連結)

(単位:百万円)

	2018年3月期 (第42期)	2019年3月期 (第43期)	2020年3月期 (第44期)	2021年3月期 (第45期)	2022年3月期 (第46期)
設備投資額	1,232	954	491	1,156	2,425
減価償却費	450	539	573	590	608



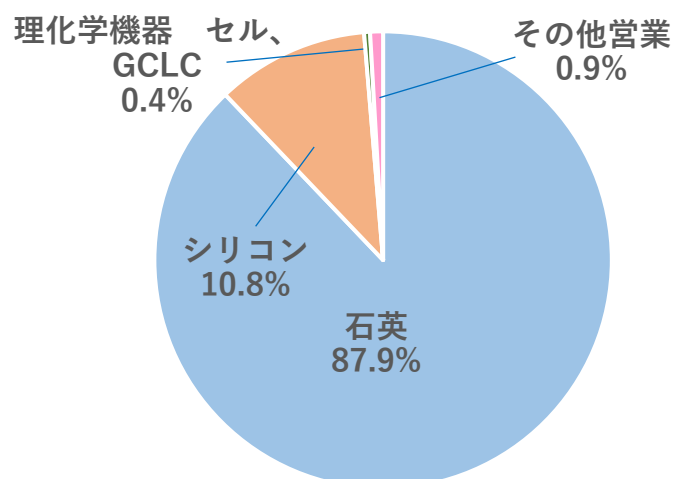
中国第一工場・第二工場の隣接地に  
第三工場を新設。

## 1-(6)製品別売上高

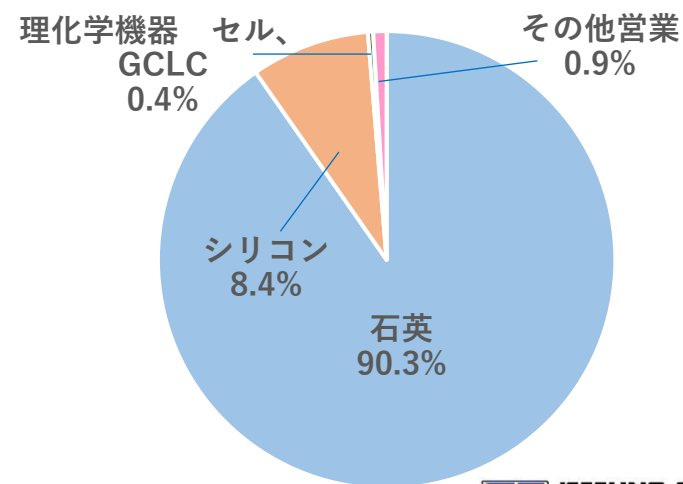
(単位：百万円)

主要製品	2021年3月期 (第45期)			2022年3月期 (第46期)		
	売上高	構成比	前年比	売上高	構成比	前年比
石英	11,240	87.9%	143.1%	14,284	90.3%	127.1%
シリコン	1,380	10.8%	143.1%	1,327	8.4%	96.2%
理化学機器 セル、 GCLC	53	0.4%	88.6%	59	0.4%	111.3%
その他営業	116	0.9%	57.8%	149	0.9%	128.5%
総計	12,791	100.0%	140.8%	15,820	100.0%	123.7%

2021年3月期



2022年3月期

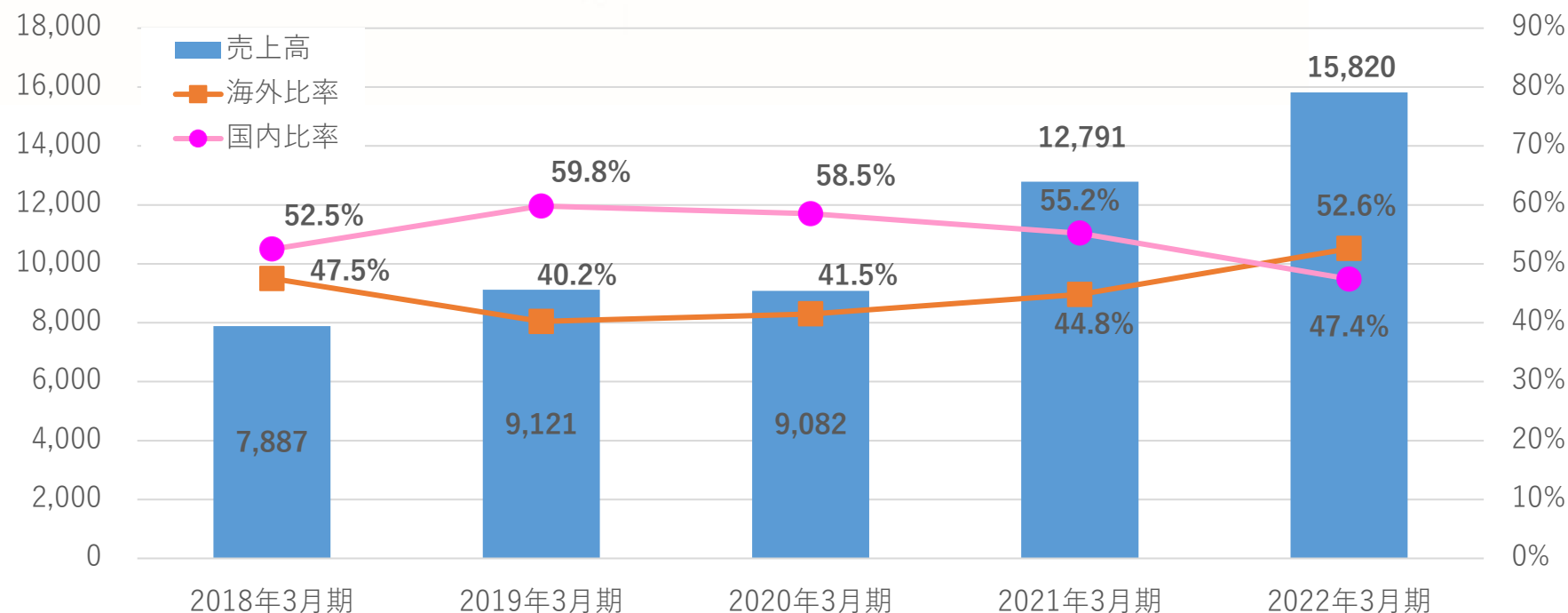




## 1-(7) 海外売上比率の推移

(単位：百万円)

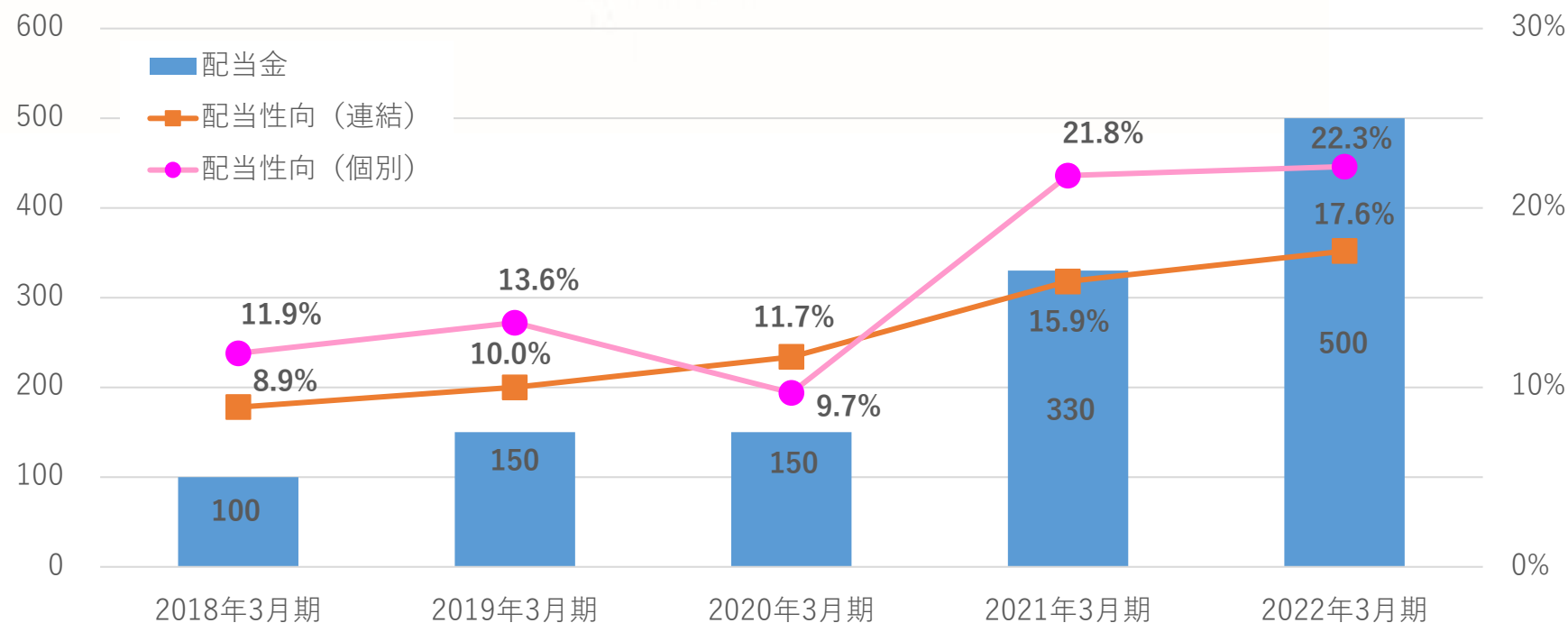
区分	2018年3月期 (第42期)		2019年3月期 (第43期)		2020年3月期 (第44期)		2021年3月期 (第45期)		2022年3月期 (第46期)	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率
国内	4,142	52.5%	5,453	59.8%	5,317	58.5%	7,059	55.2%	7,502	47.4%
国外	3,745	47.5%	3,668	40.2%	3,765	41.5%	5,731	44.8%	8,317	52.6%
合計	7,887	100.0%	9,121	100.0%	9,082	100.0%	12,791	100.0%	15,820	100.0%



## 1-(8) 配当金の推移

(単位：円)

	2018年3月期 (第42期)	2019年3月期 (第43期)	2020年3月期 (第44期)	2021年3月期 (第45期)	2022年3月期 (第46期)
1株当たり配当金	100.00	150.00	150.00	330.00	500.00
配当性向 (連結)	8.9%	10.0%	11.7%	15.9%	17.6%
配当性向 (個別)	11.9%	13.6%	9.7%	21.8%	22.3%



## 2. 2023年3月期業績予想

### 2. 2023年3月期業績予想（連結）

（単位：百万円）

	第2四半期		通期	
売上高	8,430	10.9%	17,000	7.5%
営業利益	1,570	1.4%	3,220	1.8%
経常利益	1,560	3.5%	3,220	△0.4%
純利益	1,110	8.8%	2,280	3.6%

※2022年3月期決算短信の公表値

注）%表示 対前年同期比増減率



### 3. 半導体市場予測

- (1) 世界の地域別半導体市場規模
- (2) 世界地域別半導体市場予測

出所：WSTS2021秋季半導体市場予測



# 3. 半導体市場予測

## 3-(1) 世界の地域別半導体市場規模

(単位：億米ドル)

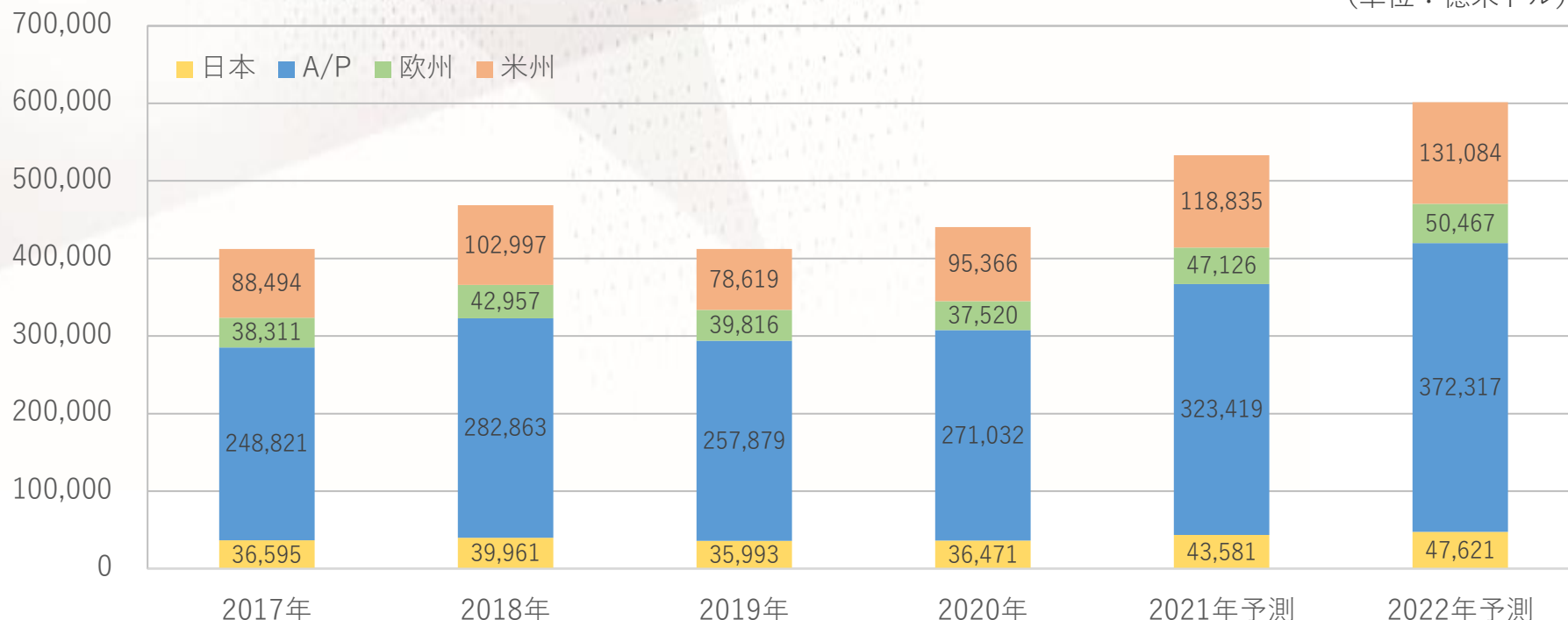
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年 予測	2022年 予測
米州	693	687	655	884	1,029	786	953	1,188	1,310
欧州	374	342	327	383	429	398	375	471	504
A/P	1,942	2,010	2,083	2,488	2,828	2,578	2,710	3,434	3,723
日本	348	311	322	365	399	359	364	435	476
合計	3,358	3,351	3,389	4,122	4,687	4,123	4,403	5,529	6,014
前年比	109.9%	99.8%	101.1%	121.6%	113.7%	88.0%	106.8%	125.6%	108.8%

※「A/P」とはアジア太平洋の略

資料：WSTS 2021年秋季半導体市場予測

## 3-(2) 世界地域別半導体市場予測

(単位：億米ドル)



世界半導体市場について

- ◆ 2020年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う巣籠り需要が牽引し、前年比6.8%増
- ◆ 2021年は2020年に半導体市場を牽引したプラス需要が継続し、またワクチン接種の進展に伴う経済活動の再開もあり、半導体は幅広く需要が強くなると思われ、同25.6%増と予測
- ◆ 2022年は足下においても多くの用途で半導体需要が旺盛であり、この傾向が当面は継続すると思われ、同8.8%増と予測

資料：WSTS 2021年秋季半導体市場予測

## 4. 中国第三工場新設

- ◇ 中国第一工場・第二工場の隣接地に第三工場を新設。（2021年11月竣工）
- ◇ 最大60台の機械設備設置が可能であり、最大約25億円/年の増産規模となります。



## 5. 新型コロナウイルス感染症関連

### < 弊社の対応 >

日々変化する状況に応じて、お客様、従業員及びその家族の安全確保・感染予防、感染拡大防止を最優先とする方針のもと、事業継続に向けた対応を引き続き実施しております。

お客様に対しましては、引き続き各種オンラインシステムを活用した商談や営業活動を行っております。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、お客様からのご注文への対応、商品出荷対応等は、通常通り実施しております。

また、当社従業員に対しては、引き続き在宅勤務及び時差出勤の継続、出張の制限等を行っているほか、事業部門ごとに事業の継続に向けたコンティンジェンシープランを策定しております。

### < 事業面の影響 >

世界的なりもネットワークの広がりや、データセンター等メモリー需要の高まりなどプラス要因が強いと見込まれます。





# テクノオーツ株式会社

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2  
ハーモニータワー

TEL: 03-5354-8171

FAX: 03-5354-8191

<https://www.techno-q.com/>

## 【免責事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があることをご了承ください。